

農業農村整備等情報化推進調査費

【1,030(993)百万円】

対策のポイント

農業農村整備事業を効率的かつ効果的に実施していくため、事業実施に係る各種業務を支援するためのシステムの整備、保守、運用を行います。

<背景/課題>

- ・農業農村整備事業の各実施段階（事業計画段階、調査測量・設計積算・入札契約・工事施工等の事業実施段階、事業完了後の維持管理段階）における各種情報を電子化し、ネットワークを用いて共有・交換をすることにより、業務の効率化・高度化を目指す「農業農村整備CALS/EC」の推進を図ります。
- ・便利で効率的な電子政府の実現に向けて策定された「公共事業支援システム（官庁営繕業務を含む）の業務・システム最適化計画」に基づき、各府省が行う公共工事、建設コンサルタント業務等において共通的な事務手続きである入札情報提供業務、入札手続き業務等について、①国民等への提供情報の一元化による利便性向上、②共通的な事務手続きにおける一元的なシステム構築による重複投資の排除、③情報の重要性に応じた安全性・信頼性の確保を図ることとしています。

政策目標

- 産地収益力の向上及び担い手の体質強化
- 老朽化や災害リスクに対応した農業水利施設の戦略的な保全管理と機能強化

<主な内容>

1. 農業農村整備CALS/ECの推進

農業農村整備CALS/ECの推進に必要なシステムの検討・整備・保守・運用を行います。

2. 電子政府の実現

公共事業支援システムの業務・システム最適化計画に基づき、農業農村整備CALS/ECシステム全体の最適化のための検討及び整備等を行います。

（事業実施主体：国
事業実施期間：平成14年度～）

[お問い合わせ先：農村振興局設計課（03-3591-5798）]